

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会・日本商工会議所

## 第41回 (令和7年度) 全国高等学校簿記競技大会問題 (第1部)

### 注 意 事 項

- (1) 解答は、すべて解答用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (3) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。  
なお、物品の貸借はしないこと。
- (4) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。  
なお、訂正印は省略する。

1 (30点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。なお、商品に関する取引は、指示のある場合を除き3分法によること。

現金	当座預金	普通預金	受取手形	営業外受取手形
売掛金	商品	仮払消費税	車両運搬具	建物
建物減価償却累計額	ソフトウェア	その他有価証券	繰延税金資産	役員長期貸付金
支払手形	営業外支払手形	買掛金	仮受消費税	仮受金
保証債務	繰延税金負債	資本金	資本準備金	その他資本剰余金
利益準備金	繰越利益剰余金	その他有価証券評価差額金	商品売買益	売上
受取利息	受取手数料	有価証券利息	仕入	売上原価
減価償却費	通信費	開発費	貸倒引当金繰入	保証債務費用
研究開発費	発送費	固定資産除却損	法人税等調整額	未決算

- (1) 株主総会において、繰越損失 ¥3,000,000 をてん補することを決議した。てん補にあたり、資本準備金を全額減少させたのち、その他資本剰余金と利益準備金を取り崩した。なお、株主総会前の勘定残高は次のとおりである。

繰越利益剰余金	資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金
3,000,000	1,000,000	900,000	1,100,000

- (2) 南北株式会社は業績悪化が続いていたため、取締役会を経て事業の統廃合や部署の再編をおこなった。そのため経営コンサルティング会社に支払う、新経営組織採用に伴う費用 ¥2,800,000 が普通預金から引き落とされた。

- (3) 3月末にあたり、仕入先の岡山商店に当店に対する債権残高を問い合わせたところ ¥8,460,000 (出荷基準を採用している) であった。同店が3月19日出荷した商品は当店の得意先である広島商店へ掛けで直送したものであったため、資料にもとづいて、仕入れおよび売り上げの仕訳をおこなう。なお、当期における仕入価格に変動はなく、販売価額は粗利率が10%となるように設定していた。

資料

- i 2月までの債権債務は決済されている
- ii 当店の岡山商店に対する債務残高 ¥5,076,000 (検収基準を採用している)
- iii 取引の詳細 (3月分)

商品名	岡山商店出荷日	当店入荷 (検収) 日	取引数量	支払日
A品	3月10日	3月13日	8,000 個	4月10日
A品	3月19日	直送品 (広島商店)	5,000 個	4月10日
A品	3月25日	3月27日	4,000 個	4月10日
A品	3月31日	4月3日 (予定)	3,000 個	5月10日

- (4) 商品売買業を営む鳥根商店はA商品に関する勘定を分記法により記帳している。ただし、売上原価および期末在庫の評価法は総平均法によっているため、期中の売上高は、すべて仮受金勘定を用いて処理していた。本日、決算にあたり同勘定を整理する。なお、A商品に関する資料は次のとおりである。

資料

- i 期首在庫高 ¥ 469,000 ( 1,876 個)
- ii 総仕入高 ¥468,005,250 (1,872,021 個)
- iii 期中売上高 ¥516,252,380 (1,870,480 個)
- iv 期末在庫数量 3,417 個

- (5) 山口商事株式会社 (決算年1回 決算日3月31日) は社内利用を目的としたインストール型のERPソフトウェア (取得原価 ¥660,000 耐用年数5年) を令和5年7月1日に購入し、同日より使用していたが、令和7年4月1日から、クラウド型のERPソフトウェアに変更することにした。よって、本日 (令和7年4月1日)、4月分の使用料 ¥13,000 を普通預金口座から支払い、使用を開始すると同時に、外付けタイプのSSD (購入額 ¥13,000) にインストールしていた従来のERPソフトウェアを消去した。

- (6) 佐賀商店は得意先長崎商店へ商品を発送するにあたり、発送運賃¥18,000を現金で支払い、発送費を計上した。なお、検収基準を採用している当店は、発送運賃を加えた¥618,000を売上高として認識する予定である。
- (7) 福岡商店は、従業員が栃木商事株式会社から私用のため購入したA品（税抜単価¥871 消費税10%対象商品）22個とB品（税抜単価¥573 消費税10%対象商品）48個とC品（税抜単価¥692 消費税8%対象商品）21個の代金を当店振り出しの小切手で支払った。ただし、消費税額の端数処理（四捨五入）は、次の適格請求書に従い、税率ごとに1回おこなうこと。

請 求 書		
田中 太郎 様		令和7年7月19日
請求額（各自推算）円 税込		
日 付	品 名	金 額
7/16	A品	19,162円
7/16	B品	27,504円
7/16	C品※	14,532円
合 計		61,198円
10%対象	(各自推算) 円	消費税 (各自推算) 円
8%対象	(各自推算) 円	消費税 (各自推算) 円
※軽減税率対象品目		
		栃木商事(株)
		登録番号 T1234567890123

- (8) 高知株式会社は、販売用のトラックを購入し、代金のうち6割は得意先愛媛商店より受け取っていた同店振り出し、当店あての約束手形を裏書譲渡し、残額は香川商店あての手形を振り出して支払った。また、トラック取得にともなう付随費用¥13,000については手形代金に含めて支払うことにした。なお、保証債務の時価は手形額面金額の1.2%の金額にあたる¥16,200を計上する。
- (9) 徳島株式会社（決算年1回 3月31日）は決算において、保有する社債を償却原価法（定額法）を適用して帳簿価額の評価替えをおこなうとともに、時価評価をおこなった。当該社債は当期首に、長期保有目的で三重株式会社の社債 110,000 口（額面総額¥11,000,000 償還期間5年）を1口あたり¥115で発行と同時に購入し、買入手数料¥110,000とともに代金は小切手を振り出して支払っていた。また、当該社債の時価は、1口あたり¥113であり、全部純資産直入法により処理すること。なお、実効税率30%とし、税効果会計を適用すること。
- (10) 27年2月28日、建物が火災で焼失した。この建物には保険価額¥35,000,000の火災保険をかけているので、ただちに保険会社に保険金の支払いを請求した。なお、建物は8年6月1日に取得しており、当期首時点での建物の帳簿価額は¥26,209,400である。減価償却は定額法（耐用年数50年 残存価額は取得原価の10% 記帳方法は間接法 決算日3月31日）によりおこなっており、当期の減価償却費についても月割で計上する。

2 (10点)

熊本商店の7月31日における略式の伝票によって、仕訳集計表を作成しなさい。なお、下記の取引について必要な伝票に記入したうえで計算すること。

- ただし、i 仕入・売上の各取引は代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。  
 ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

取引

7月31日 大分商店から商品¥337,560を仕入れ、代金のうち¥220,600は当店振り出しの小切手で支払い、残額は掛けとした。  
 ♪日 出張中の従業員から¥60,000の送金小切手が会社宛てに送られてきたが、現時点ではその詳細は不明である。

入金伝票	
売掛金	187,260
仮受金	6,000
売掛金	417,660
普通預金	119,000
当座預金	87,300
有価証券利息	2,200
売掛金	284,700
当座預金	95,400
( )	( )

出金伝票	
消耗品費	920
買掛金	363,700
前払金	24,800
買掛金	119,000
発送費	3,730
買掛金	288,400
備品	126,400
通信費	675
( )	( )

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
売掛金	382,700	売上	382,700
仕入	153,500	買掛金	153,500
通信費	12,450	当座預金	12,450
売掛金	824,200	売上	824,200
電子記録債権	214,760	売掛金	214,760
有価証券	197,960	当座預金	197,960
租税公課	6,870	当座預金	6,870
仕入	572,250	買掛金	572,250
受取手形	213,700	売掛金	213,700
買掛金	144,800	電子記録債務	144,800
旅費交通費	32,400	普通預金	32,400
当座預金	103,800	受取手形	103,800
売掛金	572,100	売上	572,100
買掛金	74,600	電子記録債務	74,600
仕入	493,860	買掛金	493,860
発送費	6,500	当座預金	6,500
売掛金	728,400	売上	728,400
買掛金	35,200	仕入	35,200
( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )

**3** (30点)

青森商店（個人商店）の次の取引から総勘定元帳（一部）に記入しなさい。また、補助簿である現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳に記入しなさい。

- ただし、i 総勘定元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
- ii 現金出納帳、仕入帳、買掛金元帳は締め切ること。
- iii 現金出納帳および買掛金元帳の摘要欄は繰越記入以外は不要とする。

取 引

1月 8日 岩手商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 900個 @¥430 ¥387,000

9日 岩手商店から仕入れた上記商品の一部について、次のとおり返品した。

A品 15個 @¥430 ¥ 6,450

10日 宮城商店へ次の商品を売り上げ、代金は掛けとした。

A品 500個 @¥720 ¥360,000

B品 600〃 〃〃760 ¥456,000

12日 臨時店舗の出店のための手数料¥20,000 および広告宣伝費¥48,000 を普通預金口座から振り込んだ。

〃日 秋田商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

B品 300個 @¥450 ¥135,000

13日 臨時店舗のつり銭を用意するために、現金¥50,000 を銀行で両替し、手数料として¥500 を現金で支払った。

14日 臨時店舗で次の商品を売り上げ、代金は現金で受け取った。

A品 300個 @¥720 ¥216,000

〃日 現金を集計したところ、実際には¥1,206,000 であったため、差額を現金過不足とした。

15日 現金¥40,000 を普通預金口座へ預け入れた。

16日 岩手商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A品 600個 @¥430 ¥258,000

B品 600〃 〃〃450 ¥270,000

19日 普通預金の利息¥20 が普通預金口座に振り込まれた。

20日 従業員の給料¥760,000 から所得税の源泉徴収額¥70,000 を差し引いた残額を当座預金口座から従業員の普通預金口座に振り込んだ。

〃日 宮城商店に対する掛代金¥1,024,000 が当座預金口座へ振り込まれた。

〃日 岩手商店に対する掛代金¥111,000 と秋田商店に対する掛代金¥360,000 を当座預金口座から振り込んだ。

27日 1月分の家賃¥120,000 が当座預金口座から引き落とされた。

4 (30点)

クレジット取引により商品を販売している沖縄株式会社の第25期（令和6年1月1日から令和6年12月31日）の次の資料によって、精算表を完成しなさい。なお、解答の便宜上、金額を小額で示している。

- ただし、i 残高試算表欄（一部記入済み）には12月31日の取引と決算整理前に判明した事項によって、修正した金額を記入すること。  
 ii 残高が零（0）の場合は空欄でよい。  
 iii 令和6年12月31日から令和7年1月1日は、年末年始の休業日である。  
 iv 令和6年12月31日は銀行の営業日とする。

資料

I 当期の最終営業日である12月30日の合計試算表

合計試算表

令和6年12月30日

(単位：円)

借方	元	勘定科目	貸方
5,300		現金	1,100
595,059		当座預金	368,928
500,000		クレジット売掛金	459,800
25,400		売買目的有価証券	7,000
10,550		繰越商品	
336		前払保険料	336
20,000		仮払法人税等	
25,600		仮払消費税	
100,000		建物	
		建物減価償却累計額	36,150
1,800		備品	
		備品減価償却累計額	720
260,000		土地	
280,400		買掛金	305,000
		仮受消費税	41,500
		短期借入金	3,000
105		未払給料	105
13,000		未払消費税	13,000
20,000		未払法人税等	20,000
		長期借入金	5,000
800		退職給付引当金	18,600
		資本金	360,000
		資本準備金	40,000
		利益準備金	16,000
		別途積立金	14,270
		繰越利益剰余金	6,800
		売上	415,000
		受取地代	600
		受取配当金	400
256,000		仕入	
6,705		給料	105
975		送付費	
630		広告料	
392		消耗品費	
900		保険料	
749		租税公課	
8,300		支払手数料	
413		雑費	
2,133,414			2,133,414



## II 12月31日の取引

- a. 短期借入金 ¥3,000 は、返済日につき満期利息 ¥60 とともに当座預金口座から引き落とされた。
- b. 次の条件で借り入れた、長期借入金の利息が、当座預金口座から引き落とされた。
- |     |     |          |     |            |     |     |        |
|-----|-----|----------|-----|------------|-----|-----|--------|
| 条 件 | 元金  | ¥5,000   | 利率  | 年1%        | 利払い | 年1回 | 12月31日 |
|     | 借入日 | 令和5年7月1日 | 返済日 | 令和10年6月30日 |     |     |        |

## III 決算整理前に判明した事項

令和7年1月2日の開店前に現金の実際有高を調査したところ金庫内の保管物は、次のとおりであった。なお、他に現金に相当するものはなかった。

- (1) 通貨 ¥2,650
- (2) 通貨 \$ 10 (受取時の為替レート \$ 1あたり ¥150)
- (3) 他店振り出しの小切手 ¥50

## IV 決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥11,000
- b. 為 替 換 算 高 決算日の為替相場は \$ 1あたり ¥160
- c. 減 価 償 却 高 建物：本社社屋であり、残存価額は取得原価の10%  
耐用年数50年の定額法で記帳している。  
備品：定率法により、毎期の償却率を40%とする。
- d. 有価証券評価高 保有する株式は次のとおりである。  
北海道株式会社 100株 取得原価 1株につき ¥184  
時価 1株につき ¥190
- e. 保険料前払高 保険料のうち ¥  は、令和6年8月1日から1年分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 給 料 未 払 高 ¥ 120
- g. 退職給付引当金繰入額 ¥ 1,058
- h. 消費税納付額 仮払消費税と仮受消費税を相殺し、納税額を確定した。
- i. 法人税・住民税及び事業税額 ¥41,700

# 第41回（令和7年度）第1部〔解答用紙〕

番号		氏名	
----	--	----	--

<b>1</b>	
得点	

<b>2</b>	
得点	

<b>3</b>	
得点	

<b>4</b>	
得点	

1部	
総得点	

1審	
----	--

2審	
----	--

3審	
----	--



**1**

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

	借 方	貸 方
(9)		
(10)		

**2**

仕 訳 集 計 表

令和〇年7月31日

借 方	元 子	勘 定 科 目	元 子	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		普 通 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		電 子 記 録 債 権		
		有 価 証 券		
		前 払 金		
		備 品		
		買 掛 金		
		( )		
		仮 受 金		
		売 上		
		有 価 証 券 利 息		
		仕 入		
		通 信 費		
		発 送 費		
		旅 費 交 通 費		
		消 耗 品 費		
		租 税 公 課		

番号		氏名	
----	--	----	--

<b>1</b>	
得点	

<b>2</b>	
得点	

**3** ※ 補助簿の摘要欄は ( ) にあてはまる語句または数値・金額を入れること。

総勘定元帳

現 金	1	現金 過 不 足	2
1/1 前期繰越 1,007,500			
普 通 預 金	3	当 座 預 金	4
1/1 前期繰越 150,000		1/1 前期繰越 2,639,500	
売 掛 金	5	繰 越 商 品	6
1/1 前期繰越 759,500		1/1 前期繰越 615,000	
買 掛 金	7	所 得 税 預 り 金	8
	1/1 前期繰越 665,000		
資 本 金	9	売 上	10
	1/1 前期繰越 4,506,500		
受 取 利 息	11	仕 入	12
給 料	13	広 告 宣 伝 費	14
支 払 手 数 料	15	支 払 家 賃	16

## 現金出納帳

1

令和 ○年	摘要	収入	支出	残高
1	1 前月繰越	1,007,500		1,007,500
	記入不要			
	( )			

## 仕入帳

1

令和 ○年	摘要	内 訳	金 額
	( ) 商店 掛け		
	( ) 品 ( ) 個 @¥ ( )		
	( ) 商店 掛け返品		
	( ) 品 ( ) 個 @¥ ( )		
	( ) 商店 掛け		
	( ) 品 ( ) 個 @¥ ( )		
	( ) 商店 掛け		
	( ) 品 ( ) 個 @¥ ( )		
	( ) 品 ( ) 〃 〃 ( )		
	( )		
	( )		
	( )		

## 買掛金元帳

## 岩手商店

1

令和 ○年	摘要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
1	1 前月繰越		234,000	貸	234,000
	記入不要				
	( )				

## 秋田商店

2

令和 ○年	摘要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
1	1 前月繰越		431,000	貸	431,000
	記入不要				
	( )				

3

得点

## 精 算 表

令和6年12月31日

(単位：円)

勘 定 科 目	残高試算表		整 理 記 入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金								
当 座 預 金								
クレジット売掛金	40,200							
売買目的有価証券	18,400							
繰越商品	10,550							
前払保険料								
仮払法人税等	20,000							
仮払消費税	25,600							
建物	100,000							
建物減価償却累計額		36,150						
備 品	1,800							
備品減価償却累計額		720						
土 地	260,000							
買 掛 金		24,600						
仮受消費税		41,500						
短期借入金								
未払給料								
未払消費税								
未払法人税等								
長期借入金								
退職給付引当金								
資 本 金								
資本準備金		40,000						
利益準備金		16,000						
別 途 積 立 金		14,270						
繰越利益剰余金		6,800						
売 上		415,000						
受取地代		600						
受取配当金		400						
仕 入	256,000							
給 料								
発 送 費 料								
広 告 費 料								
消 耗 品 費 料								
保 險 費 料								
租 税 公 課								
支 払 手 数 料								
雑 費								
支 払 利 息								
	978,840	978,840						
為 替 差 損 益								
減 価 償 却 費								
有 価 証 券 評 価 損 益								
退 職 給 付 費 用								
法 人 税 等								
当 期 純 利 益								

<b>4</b>	
得点	

## 第41回（令和7年度）第1部〔審査基準〕

<b>1</b>	3点×10=30点
----------	-----------

<b>2</b>	2点×5=10点
----------	----------

<b>3</b>	3点×10=30点
----------	-----------

<b>4</b>	3点×10=30点
----------	-----------

1部 合計	100点
----------	------



# 1

	借 方		貸 方	
(1)	資 本 準 備 金 1,000,000 その他資本剰余金 1,900,000 利 益 準 備 金 1,100,000		その他資本剰余金 1,000,000 繰越利益剰余金 3,000,000	
(2)	開 発 費 2,800,000		普 通 預 金 2,800,000	
(3)	仕 入 2,115,000 売 掛 金 2,350,000		買 掛 金 2,115,000 売 上 2,350,000	
(4)	仮 受 金 516,252,380		商 品 467,620,000 商 品 売 買 益 48,632,380	
(5)	固 定 資 産 除 却 損 429,000 通 信 費 13,000		ソ フ ト ウ エ ア 429,000 普 通 預 金 13,000	
(6)	発 送 費 18,000		現 金 18,000	
(7)	資 本 金 67,028		当 座 預 金 67,028	
(8)	仕 入 2,263,000 保 証 債 務 費 用 16,200		受 取 手 形 1,350,000 支 払 手 形 913,000 保 証 債 務 16,200	

	借	方	貸	方
(9)	有価証券利息	352,000	その他有価証券	352,000
	その他有価証券	22,000	その他有価証券評価差額金	15,400
			繰延税金負債	6,600
(10)	建物減価償却累計額	12,390,600	建	物
	減価償却費	636,900		38,600,000
	未決算	25,572,500		

**2**

仕 訳 集 計 表

令和〇年7月31日

借	方	元	勘定科目	元	貸	方
1,259,520			現金			927,625
103,800			当座預金			627,080
			普通預金			151,400
213,700			受取手形			103,800
2,507,400			売掛金			1,318,080
214,760			電子記録債権			
197,960			有価証券			
24,800			前払金			
126,400			備品			
1,246,300			買掛金			1,557,170
			(電子記録債務)			219,400
			仮受金			66,000
			売上			2,507,400
			有価証券利息			2,200
1,557,170			仕入			35,200
13,125			通信費			
10,230			発送費			
32,400			旅費交通費			
920			消耗品費			
6,870			租税公課			
7,515,355						7,515,355

**1**

得点

3点×10=30点

**2**

得点

2点×5=10点

総勘定元帳

現金		1	現金過不足		2
1/1 前期繰越	1,007,500	1/13	500	1/14	17,000
14	216,000	14	17,000		
		15	40,000		
普通預金		3	当座預金		4
1/1 前期繰越	150,000	1/12	68,000	1/1 前期繰越	2,639,500
15	40,000			1/20	690,000
19	20			20	1,024,000
				27	120,000
売掛金		5	繰越商品		6
1/1 前期繰越	759,500	1/20	1,024,000	1/1 前期繰越	615,000
10	816,000				
買掛金		7	所得税預り金		8
1/9	6,450	1/1 前期繰越	665,000	1/20	70,000
20	471,000	8	387,000		
		12	135,000		
		16	528,000		
資本金		9	売上		10
		1/1 前期繰越	4,506,500	1/10	816,000
				14	216,000
受取利息		11	仕入		12
		1/19	20	1/8	387,000
				12	135,000
				16	528,000
給料		13	広告宣伝費		14
1/20	760,000			1/12	48,000
支払手数料		15	支払家賃		16
1/12	20,000			1/27	120,000
13	500				

## 現金出納帳

1

令和 ○年	摘要	収入	支出	残高
1	1 前月繰越	1,007,500		1,007,500
	13		500	1,007,000
	14	216,000		1,223,000
	〃		17,000	1,206,000
	15		40,000	1,166,000
	<b>31 次月繰越</b>		<b>1,166,000</b>	
		1,223,500	1,223,500	

## 仕入帳

1

令和 ○年	摘要	内 訳	金 額
1	8 (岩手) 商店 掛け (A) 品 (900) 個 @¥ (430)		387,000
	9 (岩手) 商店 掛け返品 (A) 品 (15) 個 @¥ (430)		6,450
	12 (秋田) 商店 掛け (B) 品 (300) 個 @¥ (450)		135,000
	16 (岩手) 商店 掛け (A) 品 (600) 個 @¥ (430) (B) 品 (600) 〃 〃 (450)	258,000 270,000	528,000
	31 (総仕入高)		1,050,000
	〃 (仕入返品高)		6,450
	(純仕入高)		1,043,550

## 買掛金元帳

## 岩手商店

1

令和 ○年	摘要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
1	1 前月繰越		234,000	貸	234,000
	8		387,000	〃	621,000
	9	6,450		〃	614,550
	16		528,000	〃	1,142,550
	20	111,000			1,031,550
	<b>31 次月繰越</b>	<b>1,031,550</b>			
		1,149,000	1,149,000		

## 秋田商店

2

令和 ○年	摘要	借 方	貸 方	借または貸	残 高
1	1 前月繰越		431,000	貸	431,000
	12		135,000	〃	566,000
	20	360,000		〃	206,000
	<b>31 次月繰越</b>	<b>206,000</b>			
		566,000	566,000		

3  
得点

3点×10=30点

## 精 算 表

令和6年12月31日

(単位：円)

勘 定 科 目	残高試算表		整 理 記 入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	4,200		100				4,300	
当 座 預 金	223,021						223,021	
クレジット売掛金	40,200						40,200	
売買目的有価証券	18,400		600				19,000	
繰越商品	10,550		11,000	10,550			11,000	
前払保険料			329				329	
仮払法人税等	20,000			20,000				
仮払消費税	25,600			25,600				
建物	100,000						100,000	
建物減価償却累計額		36,150		1,800				37,950
備 品	1,800						1,800	
備品減価償却累計額		720		432				1,152
土 地	260,000						260,000	
買 掛 金		24,600						24,600
仮受消費税		41,500	41,500					
短期借入金								
未払給料				120				120
未払消費税				15,900				15,900
未払法人税等				21,700				21,700
長期借入金		5,000						5,000
退職給付引当金		17,800		1,058				18,858
資 本 金		360,000						360,000
資本準備金		40,000						40,000
利益準備金		16,000						16,000
別途積立金		14,270						14,270
繰越利益剰余金		6,800						6,800
売上		415,000				415,000		
受取地代		600				600		
受取配当金		400				400		
仕 入	256,000		10,550	11,000	255,550			
給 料	6,600		120		6,720			
送 費	975				975			
廣 告 料	630				630			
消 耗 品 費	392				392			
保 險 料	900			329	571			
租 税 公 課	749				749			
支 払 手 数 料	8,300				8,300			
雑 費	413				413			
支 払 利 息	110				110			
	978,840	978,840						
為替差損益				100		100		
減価償却費			2,232		2,232			
有価証券評価損益				600		600		
退職給付費用			1,058		1,058			
法 人 税 等			41,700		41,700			
当期純利益					97,300			97,300
			109,189	109,189	416,700	416,700	659,650	659,650

<b>4</b> 得点	3点×10=30点
----------------	-----------